

実践記録

学校/学年	小学校 / 5年	
教科等：単元名	社会：「社会見学の新聞をよりわかりやすくしよう」	
キーワード	掲示板 書き込み	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	c3 2 何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	メールや掲示板等に、相手の気持ちを考えながらメッセージを書くことができる。	
使用教材	教材名	事例で学ぼう Net モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案 (2時間扱い)

	学習活動	指導 評価
導 入	1 自分の新聞を掲示板に載せる方法やアドバイスを書き込む方法を知る。 2 アドバイスの視点を考える。	・スカイメニューで教師画面を送信して手順を見せながら説明する。 ・国語で学習した新聞の構成を振り返らせ、アドバイスの視点を考えさせる。
展 開	3 掲示板を使うときの注意を知る 4 実際に友だちの新聞を見て、アドバイスや感想を書き込む。	・Web サイトのドリルに取り組みせ、正しい対応について考えさせる。 友だちに視点に沿ったアドバイスを、適切な表現で書くことができたか。
お わ り	5 自分に送られたアドバイスや感想をみて、自分の新聞の直すところを明らかにする。 6 授業の感想を出し合う。	友だちの意見を取り入れて、よりよくする点を明らかにすることができたか。 ・多くの人の意見をもらって練り上げることによさに気づかせる。

授業の成果

- ・今回は、Web サイトのドリルを通して知識を知り、対応について考えた上で、実際に書き込みをして、相手に伝える側と伝えられる側の両方を体験したことが効果的であったと考える。対面していない相手にも言葉の使い方や表現方法に気をつけなければならないことに気がつき、さらに、自分の新聞をよりよくするという最終的な目標を達成させることができた。

指導のポイント・留意点

- ・書き込みをしてもらえる人数に大きな偏りが出ないように配慮する。